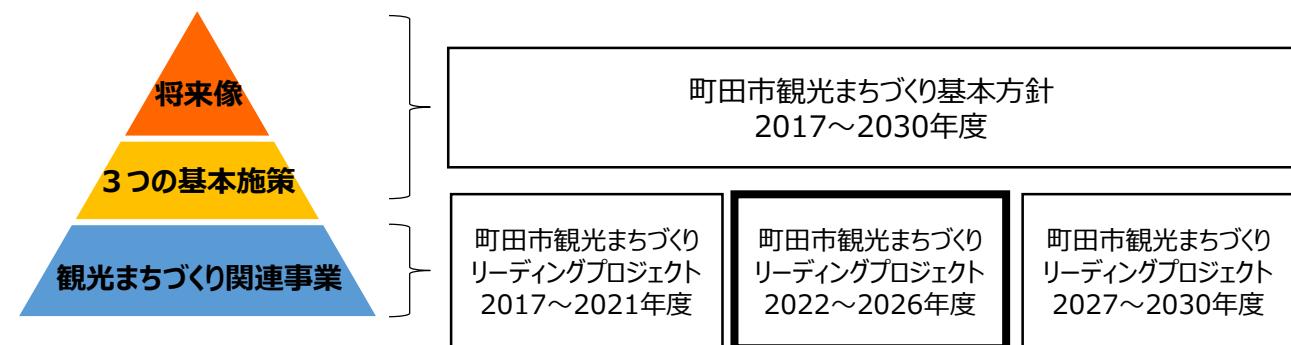


I. 基本方針とリーディングプロジェクト

- ・観光を切り口に来訪者と地域住民の交流を拡大し、さらに観光による消費拡大で経済活性化を図ることでまちの活力の維持・向上を目指すため、『町田市観光まちづくり基本方針』を2017年5月に策定しました。
- ・基本方針では、市民と行政が協働で「観光振興」と「まちづくり」を一体的に進めるための将来像と3つの基本施策を定めました。
- ・基本方針に基づく観光まちづくり関連事業を戦略的に推進するため、『町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト』として2017～2021年度までの取組みをまとめました。
- ・本計画では、現在の観光を取り巻く状況を踏まえながら、新たに2022年度から2026年度までに行う取組みをまとめます。



II. リーディングプロジェクトの成果

①これまでの主な取り組み

基本施策1
町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ

- ・桜の植樹、桜守の会設立（〇ごと大作戦）支援
- ・町田ゆかりの作家に注目した新たなツアーの実施
- ・多摩市、稲城市と連携し、各市の魅力を活かした広域連携プロジェクトの展開

基本施策2
観光まちづくりの担い手と態勢づくり

- ・シンポジウムの開催による観光気運の醸成
- ・相模女子大学と連携した四季彩の杜PR
- ・観光案内所に多言語対応の観光案内機器の導入

基本施策3
地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大

- ・外国人向けFacebookでの情報発信
- ・人気TV番組等のロケ支援
- ・薬師池公園四季彩の杜プロモーションサイトの立ち上げ

②成果指標

指標	策定時(2017)	目標(2021)	実績(2021)	達成状況
延べ宿泊者数	337,699人	345,000人	236,459人	未達成
観光消費額	4,038円	4,500円	6,474円(参考値)	達成
観光入込客数	5,013,269人	5,700,000人	5,735,010人	達成
観光満足度	60.9%	70.0%	59.3%(参考値)	未達成
リピーター率	86.7%	現状維持	80.0%(参考値)	未達成

III. 観光まちづくりの現状と課題

<新型コロナウイルス感染症による影響>

- ① 訪日外客数は、この1年はほぼゼロに
 - ・2020年の訪日外国人数は412万人(前年比-87.1%)。このうち394万人は3月までの来訪。
 - ・コロナ禍以前の水準までの回復は、2024年以降との見通し
- ② 生活様式の変化
 - ・3密の回避や人との接触を減らす行動の浸透
- ③ 市内の宿泊者の減少
 - ・2020年の市内の延べ宿泊者は236,459人(前年比-42% 県内宿泊者-30% 県外宿泊者-38% 訪日外国人宿泊者-91%)
- ④ 町田市の観光入込客数の増加
 - ・2020年の観光地点での観光客数は、574万人(+209万人)
 - ・公園の需要増(薬師池公園は過去5年間で最高の来園者数)

<町田市の観光に関する意識調査(Web調査)> 2021年11月実施

対象者：東京都、神奈川県在住の20～60歳代 計500人

■ 町田市と聞いて思い浮かぶこと

- 観光の要素
 - リス園、ショッピング(町田駅周辺、グランベリーパーク、古着)、飲食(ラーメン)
- 市の印象
 - Good: 活気ある栄えたまち、住みやすい便利なまち
 - Bad: 治安が良くないイメージ

■ 訪れたことがある観光スポット、イベント

グランベリーパーク、リス園、芹ヶ谷公園、スノーピーミュージアム、国際版画美術館
→ 来訪目的：ショッピング(68.7%、20代は75.0%)

■ お出かけ先として町田市に興味があるか

興味がある (35.4%) [来訪歴あり：49.3%、来訪歴なし：14.5%]
↓ 町田市の観光情報を提供(町田駅前、薬師池、南町田、小野路、鶴川)
興味を持った (59.8%) [来訪歴あり：69.3%、来訪歴なし：45.5%]
来訪したい (59.4%) [来訪歴あり：71.3%、来訪歴なし：41.5%]

まとめ

- ・遠方からの来訪は減少。
- ・生活様式の変化により、3密を避けられる公園等の人気が高まっている。
- ・町田市はショッピングや飲食のイメージはあるが、花やみどりを楽しめるスポット(薬師池、小野路など)があることは認知されていない。
- ・町田市の観光資源を、効果的に発信できていない。



Ⅳ. リーディングプロジェクト2022の目標

コロナ禍を経て、観光をめぐる状況や人々の意識が変化する中で2022～2026年度のコンセプトを次の2つとし、成果目標値に向けて観光施策を展開します。

①マイクロツーリズムの推進

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、密を避け開放的な自然志向の高まりに拍車がかかっており、そのニーズをとらえる。
- ・ 市内在住もしくは近隣自治体在住者をターゲットに、町田の魅力を再発見し、繰り返し訪れてもらえるように。

②町田のファンづくり

- ・ 町田の多様な魅力を様々な手法で伝えることで、市内在住者は愛着が湧き、近隣自治体在住者は興味・関心が湧き、いつも町田のことが気になる“ファン”を作る。



Ⅴ. リーディングプロジェクト2022の取り組み内容

※★は重点事業

基本施策1 町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ

商都まちだの魅力の他に、マイクロツーリズムを意識した近隣都市の生活者を引き付ける、町田市の自然を活かした地域素材の発掘・磨き上げを行います。

(1)★「町田薬師池公園四季彩の杜」を町田のシンボルに

町田市の魅力的な観光拠点の1つである「町田薬師池公園四季彩の杜」を更に磨き上げるため、新しい取り組みを行います。

- 四季彩の杜の一体的なマネジメント推進による新たな魅力の創出
- 既存イベントに新たなコンテンツを追加し付加価値を創出
- 中長期的な視点でブランディングを行い、何度でも訪れたくなる魅力の創出

(2) 花とみどりの魅力を活かした事業の展開

市民にとって重要な資産である桜に加え、町田を彩る花やみどりを魅力ある地域資源へと発展させます。

- ウィズコロナの時代に即した、地域が主催するさくらまつりの支援
- うめ、さくら、ばたん、バラ、ハス、紅葉など、花やみどりの活用
- フットパスの振興で地元の魅力を再発見

基本施策2 観光まちづくりの担い手と態勢づくり

市民や町田市に訪れた人の他に、町田市の魅力に触れた人たちの力を借りながら「みんなでまちづくり」の機運を醸成します。また、賑わいのある商業と自然豊かな里が連携する態勢を作ります。

(1) ★人や情報が集まる観光ネットワークの創出

まちだの良い魅力に気づいたり、町田に関心を寄せる人の増加を目指し、そのための機会をつくり出します。

- 市内のイベント情報などを集約して発信するポータル構築
- 四季彩の杜を題材にしたWSの開催や、町田かるたを使った大会の開催など、町田のファンを増やすイベントの実施

(2) 「まちなか」と「おくまち」の連携の強化

まちなかの情報とおくまち（里山など、中心市街地から離れた町田の自然豊かなエリア）の情報が双方でわかるような連携の仕組みづくりをします。

- 町田駅周辺施設での里山の紹介
- 小野路宿里山交流館での、町田駅周辺の飲食店などの紹介

基本施策3 地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大

伝えたい「テーマ」と「ターゲット」を明確にするとともに、町田で観光を楽しんだ人自らが情報発信をしなくなるプロモーションを行います。

(1) ★ウィズコロナのシティセールスの推進

デジタル技術を活用した新しい観光プロモーションを展開します。

- デジタルスタンプラリーの実施、観光マップのデジタル化、AIチャットボットの導入など

(2) 季節感をアピールした情報発信

都市と自然を併せ持つ町田の魅力を、季節を感じられるプロモーションというテーマを掲げて発信します。

- 四季ごとの観光プロモーションの展開、WEB媒体へのニュースレターの配信

(3) ロケーションの支援

映画やテレビドラマのロケーション受け入れを支援するほか、情報番組等へ情報提供し、町田市での撮影を促します。

- ロケーション受け入れ態勢の整備、情報番組等への情報提供など